

# はなぞの

令和4年度  
花園小学校だより  
3月号  
2023年2月28日

## 「年齢をしっかりと刻み、より良き成長を」

校長 本木 賢司

少しずつ日差しの温もりが感じられる日が多くなる三月を迎えました。今年度もあと一か月を残すばかりです。子どもたちは今、学年のまとめと進級・進学に向けて、学校生活の一日一日を大切にすごしています。

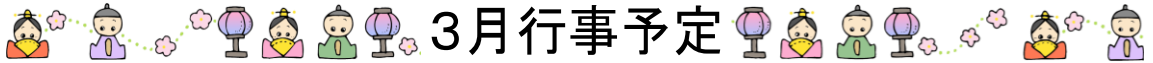
この一年間を振り返ると、コロナウイルス感染症の影響をまだ色濃く受ける状況ではありましたが、子どもたちが学校生活の中で、学習や様々な経験・体験を通して、学んだこと、成長してきたことがたくさんあることに気づきます。身長や体重のように目に見えて伸びたり増えたりしたことはわかりやすい成長です。漢字の読み書きや計算ができるようになる知識や技能の上達、体力の向上や運動の技能の向上もそうですし、友達が増えた喜びや協力してやり遂げたときの喜びもあげられます。

日々の学校生活の中で子どもたちが努力してきたことや経験してきたことが子どもたちの成長につながっていると思います。

ここで一つ豆知識を紹介したいと思います。私は、若い頃グアムの日本人学校で勤務していたことがあります。グアムは知っている方も多いと思いますが、青い空、青い海が印象的な常夏の島です。そこで、たくさん子どもたちや日本人会の方、また現地の方々との出会いがあり、話したいエピソードもあるのですがそれはまた別の機会にして、今回はそこで育つ樹木と日本で育つ樹木のある違いについて紹介します。みなさん年輪をご存知だと思います。そうです。木の幹を切った時に見えるあの幾重もの輪のことです。年輪は、季節によって成長の形質が違うことからできるそうです。樹木は春に大きく成長します。これが年輪の中で色の薄い部分です。夏になると成長が遅くなり細胞の壁が厚くなってきます。これが年輪の色の濃い部分になります。色の薄い部分のことを早材、または春材と呼び、色の濃い部分のことを晩材、または夏材と呼びます。ちなみに秋と冬の時期には成長は止まります。このように、四季のある日本の樹木は、一年で一本の年輪がつくられるのです。しかし、常夏のグアムには、メリハリがなく育ち年輪ができない樹木も多いようです。

子どもたちの学校生活の中でも、嬉しい出来事や楽しい出来事と辛い出来事や苦しい出来事の両方があると思います。また、周りから見ていると成長が止まっているように見える時もあるかもしれません。しかし、これらはすべて、子どもがたくましく成長するための貴重な経験だと受け止めて、成長の糧としてもらいたいと考えています。そして一人一人が人生の年輪をしっかりと刻み、より良い成長をしてくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者並びに地域の皆様には、本校教育活動への温かいご支援・ご協力本当にありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。


**3月行事予定**

日	曜	週	行事予定
1	水	B	委員会活動
2	木		ALT来校
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	A	
7	火		心のふれあい日 ALT来校
8	水		花園集会(6年生を送る会) SC来校
9	木		ALT来校
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	B	出前授業(4年)
14	火		心のふれあい日 ALT来校
15	水		代表委員会 子ども安全の日
16	木		卒業式予行 ALT来校
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	A	給食終了日 大掃除
21	火		
22	水		卒業式準備 (1~3年生・6年生…12:20下校、4・5年生…弁当持参)
23	木		卒業証書授与式
24	金		修了式 (1~4年生…11:30下校、5年生…12:20下校)
25	土		
26	日		
27	月		春季休業日 (~4月7日まで)

4月の主な予定 …

- 10日(月) 始業式
- 12日(水) 入学式
- 13日(木) 2~6年生 給食開始
- 18日(火) 1年生給食開始

